

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		
ナンバリングコード	P31702	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P170263	クラス名	清田研究室
担当教員名	清田 雄二		
履修上の注意、履修条件	卒業研究として希望する専門領域の担当教員クラスを履修すること。演習を伴う授業なので、遅刻・欠席をすると授業についていけなくなります。主体的に目標に向かって活動できること。各自で設定した研究目標に向かって取り組みます。課題と出席を欠かさないでください。中間発表会での発表は必須です。		
教科書	必要に応じて教員が資料を指示します。		
参考文献及び指定図書	必要に応じて教員が資料を指示します。		
関連科目	コンテンツ系科目、デジタルコンテンツ論、コンテンツ企画論		

○基本情報			
授業の目的	研究ゼミナールは4年次の卒業研究に着手するための準備を行うことを目的とした科目です。卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざします。希望調査の後に配属先研究室は決定されます。 各自でテーマに沿って取り組みます。社会人基礎力における総合的な能力の育成に取り組みます。		
授業の概要	テーマに沿って各自、又はグループで主体的に取り組めます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自身が決めたテーマに向け、卒業研究に向けた基礎能力の学習		20点	5点
【知識・理解】	自身が決めたテーマにおける、基礎的知識の習得		20点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	他学生や先輩方との交流から、話を聞き、質問し、文章にまとめる能力を学習します。また自身で発表し、さらに先輩方の発表から、発表方法についても学習します。		20点	5点
【思考・判断・創造】	テーマに沿った仮説検証に取り組むための、問題解決能力を学習します。		20点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
レポートの提出、レポートの記載内容 課題やワークへの取り組み 卒業研究 中間発表や口頭試問などへの参加	
フィードバック方法 ・課題:LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説	

○その他	
出席登録は授業開始最初の10分、遅刻登録は授業開始最初の20分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業を下さい。登録無き場合、欠席と記録します。 教員が指定するWebシステムやサーバを用いた演習を行います。 課題への評価は、翌授業日の朝に行います。 課題の評価が低い場合、点数が付いていない場合、必ず再度取り組み、再提出下さい。 課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。 スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得下さい。 課題などへの取り組みは、友人などと相談して取り組むこと可能です。ただし、必ず自分一人で、資料などを見ずに問題解決できる能力を修得して下さい。(試験などは各個人での取り組みです) ポータブルハードディスクは、必ず個人で用意し持参すること(USBメモリ等での代用はできません)	
授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。(授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。) 課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。 他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。 著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。 後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。	
技術的な進化がめまぐるしい分野です。各自で日々、この分野に対するニュースや最新技術、コンテンツに触れる取り組みを下さい。	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 清田 雄二	授業コード	P170263
学修内容				
1. ガイダンス 研究ゼミナールBでの目標、卒業研究に向けた計画だてた取り組みについて説明します。その後、今学期の取り組みの目標を立てます。				
予習	研究ゼミナールにて取り組みたいことについて考えてきなさい。			約2時間
復習	取り組みたいことについて、プレゼン資料にまとめます。			約2時間
2. 発表会 今期取り組むことについて、発表を行います。また発表内容に対してディスカッションを行います。				
予習	プレゼン資料を用意し、発表の準備を整えてください。			約2時間
復習	今期の取り組みについて考えてください。			約2時間
3. 取り組み① 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
4. 取り組み② 報告会 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	プレゼン資料を用意しておきなさい。			約2時間
復習	取り組み目標と計画を見直し、各自で取り組みなさい。			約2時間
5. 取り組み③ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
6. 取り組み④ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
7. 取り組み⑤ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
8. 取り組み⑥ 報告会 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	プレゼン資料を用意しておきなさい。			約2時間
復習	取り組み目標と計画を見直し、各自で取り組みなさい。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 清田 雄二	授業コード	P170263
学修内容				
9. 取り組み⑦ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
10. 取り組み⑧ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
11. 取り組み⑨ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
12. 取り組み⑩ 報告会 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	プレゼン資料を用意しておきなさい。			約2時間
復習	取り組み目標と計画を見直し、各自で取り組みなさい。			約2時間
13. 取り組み⑪ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
14. 卒業研究 口頭試問に参加 4年生の卒研発表会に参加。来年度に取り組む発表会に参加することから、準備すること、取り組み、計画性、発表練習の重要性、質疑応答など、様々な学習に取り組めます。				
予習	過去の卒研について調査			約2時間
復習	卒研発表会の取り組みについてまとめる。			約2時間
15. 卒業研究 学科代表選考・ポスターデモに参加 4年生の卒研発表会に参加。来年度に取り組む発表会に参加することから、準備すること、取り組み、計画性、発表練習の重要性、質疑応答など、様々な学習に取り組めます。				
予習	過去の卒研について調査			約2時間
復習	卒研発表会の取り組みについてまとめる。			約2時間
16.				
予習				
復習				